

こんにちは 日本共産党県議団です

県北部・東日本大震災 5月臨時議会 特集

4月10日の県議会議員選挙で日本共産党県議団は、石坂ちほ、小林伸陽、高村京子、和田あき子（以上、現職）、両角友成、ふじおか義英（以上、新人）の6名の県議団になり、ひきつづき代表質問権と議案提案権を持つことができました。

5月9日～12日には臨時県議会が開かれ、正副議長、所属委員会などが決まり、震災の復興・支援と原発エネルギーの転換を求める意見書も採択されました。みなさんの要求実現のために全力でがんばります。

被災地の栄村に、共産党県議団として改めて5月18日に調査に伺いました。

6月定例会に向けて、震災復興支援や、原子力発電にかわる自然エネルギーの活用など、調査をすすめて具体的提案をしていきます。

みなさんのご意見、ご要望をお待ちしております。

県北部地震 栄村で現地調査

雪解けで農地の地割れや農業用水路などの被害が徐々に明らかになってきました。日本共産党県議団は5月18日、栄村を訪れ、島田茂樹村長から説明を受けた後現地を視察し、農家の方々などと懇談して、被害状況や要望をお聞きしました。



島田村長から説明を受ける県議団



農地が地割れした小滝地区での調査
(右から) 高村、藤岡、石坂、
(左後ろから) 両角、和田各議員

(⇒裏面に続く)

力を合わせてがんばります！

所属委員会は次の通り。文教企業委員長に高村京子議員が選出されました。

(長野市)



石坂 ちほ
団長

総務企画警察委員会

6名で力をあわせて、大震災と原発事故をのりこえて、希望あるメッセージを長野県政からも発信したいと願っています。

(上伊那郡)



小林 伸陽
副団長

危機管理建設委員会
議会運営委員会

原発事故や大震災などの対応、浅川のダムによらない治水対策、議会改革は県民の期待が大きい課題です。全力で頑張ります。

(上田市・小県郡)



高村 京子
幹事長

文教企業委員会
(委員長)

すべての子どもたちが大切にされ、いきいきと学べる環境づくりをめざして、みなさんの願いが実現できるよう頑張ります。

(長野市)



和田 あき子
政策委員長

環境商工観光委員会

くらし・子育て応援の県政へ、心新たに2期目のスタートです。本県の豊かな自然を生かして使うエネルギーを積極的に提案します。

(松本市)



両角 友成
会計責任者

健康福祉委員会
決算特別委員会

救援・復興、原発事故、自分たちの生活の型そのものを変えなければいけない時に県議となり責任の重さを感じます。

(佐久市・北佐久郡)



ふじおか 義英
政策副委員長

農政林務委員会
広報委員会

食料やエネルギーをどうしていくのか、日本や長野県の進路を考えていく今、自分のすべきことを意識してどんどん行動します。

栄村調査レポート

【5月18日】



うしろは、中条川上流で幅200mにわたる山体崩落の現場。土砂は山にぶつかって止まりましたが、残りが土石流として大量に下へ流れました。(右2人目から)和田、石坂、高村、藤岡、両角各議員



農地の被害状況を示した地図。被害を受けた箇所は赤で塗りつぶされています。いまだ残雪で埋まった農地や農業用水路もあり、作付の準備をしてぎりぎりまで待つ農家の方も。



土石流がたまった中条川は、川の流れが変わりました。現場では復旧作業が行われています。



被害の大きかった小滝地区。田畑だけでなく農道や用水路など、復旧は急務です。



土台からひび割れした住宅にはレッドカードがはられていました。



危機管理建設委員会で調査する小林議員(左から3人目) 5月23日。

党県議団も 県に申し入れ

仮設住宅に 全希望者が入居



日本共産党県議団と党栄村議員団がこの間行ってきた県や村への申し入れも反映し、仮設住宅には希望者全員の入居が決まりました。順次入居が始まっています。

また、住宅再建の困難な被災者が安心して生活できるよう県営・村営住宅の建設を求めましたが、コミュニティーに配慮した集落ごとの村営住宅が建設される方向が検討されています。

「原発に頼らない エネルギー政策を」

意見書採択

5月臨時県議会で「政府の強いリーダーシップのもと東日本大震災及び長野県北部の地震災害からの復興を求める意見書」が全会一致で採択されました。

党県議団は、原発に頼らないエネルギー政策の転換を目指して奮闘し、意見書にも「原子力エネルギーに頼らない自然エネルギー等の導入を促進すること」が盛り込まれました。



東日本大震災 福島県へ調査・支援

3月29日、義援金と被災者から要望のあった衣類や消耗品などの支援物資をマイクロバスに詰め込み、福島市を訪れました。

うかがったのは、原発事故で避難してきた住民のみなさん1300人がいる体育館。その後、原乳を廃棄せざるをえなかった業者の方ともお会いし、それぞれ現状をお聞きしました。



ご意見・ご要望をお寄せください。

日本共産党県議会報告

No. 1 2011年6月

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/> E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp